

(別表第1の3)

[認知症対応型共同生活介護用]

1. 評価結果概要表

作成日 平成 21 年 1 月 8 日

【評価実施概要】

事業所番号	3870102690		
法人名	有限会社 優寿の里		
事業所名	グループホーム 優寿の里		
所在地	松山市堀江町甲207番地1 (電話) 089-979-3791		
管理者	堀 恵子		
評価機関名	愛媛県社会福祉協議会 利用者支援班		
所在地	愛媛県松山市持田町三丁目8-15		
訪問調査日	平成 20 年 11 月 26 日	評価確定日	平成 21 年 1 月 13 日

【情報提供票より】 (平成 20 年 11 月 7 日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 14 年 9 月 1 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	22 人	常勤 10 人, 非常勤 12 人, 常勤換算	9.36 人

(2) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	35,000 円	その他の経費(月額)	10,000 円
敷金	有()円 ○ 無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有()円 ○ 無	有りの場合 償却の有無	
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり	1,166 円	

(3) 利用者の概要 (平成 20 年 11 月 7 日事業所記入)

利用者人数	18 名	男性 3 名	女性 15 名
要介護 1	1 名	要介護 2	2 名
要介護 3	6 名	要介護 4	4 名
要介護 5	4 名	要支援 2	1 名
年齢	平均 83.9 歳	最低 49 歳	最高 94 歳

(4) 他に事業所として指定等を受けている事業及び加算

指定	あり	指定介護予防認知症対応型共同生活介護
指定	なし	指定認知症対応型通所介護
届出	あり	短期利用型共同生活介護
加算	あり	医療連携体制加算

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホーム周辺は工場の多い地域であるが、ホーム前には小川も流れ、のんびりとした雰囲気の中で生活を送っている。利用者と職員が普通に暮らすことをモットーにケアに取り組んでいる。開設から6年を迎えるホームであるが、利用者のことを常に一番に考え、日々改善点等を話し合いながら、マンネリ化しないよう職員が意識している。運営者は、利用者気持ち良く過ごしてもらうためには職員が無理せず働く環境をつくるのが大切と考え、職員を増員するなどして、研修にも参加しやすくなるよう配慮している。家族は協力的であり、信頼関係を築いている。

【質向上への取組状況】

▼ 前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況 (関連項目: 外部4)

前回評価で改善点として挙げられた市町村との連携については、その都度課題等を相談するなど、積極的に連携を図るよう努めている。防災対策については、マニュアルと備蓄品を整備するとともに、職員が防災士の資格を取り、消防署とも連携しながら防災対策にあたっている。

▼ 今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目: 外部4)

全職員が取り組んだ自己評価について、皆で話し合い、ユニットリーダー及び管理者がまとめあげて作成している。

▼ 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み (関連項目: 外部4, 5, 6)

2か月に1回、定期的開催しているが、議題や会議内容等に困ることもあり、ホームとしては家族にも参加してもらい、より意見交換できる場にしたと考えている。

▼ 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目: 外部7, 8)

意見や苦情等はあまりないが、家族がもっとも気にかけている身体機能や体調についての意見や相談はあるので、不安に思うこと等については迅速に対応している。

▼ 日常生活における地域との連携 (関連項目: 外部3)

工場の多い地域ではあるが、ホーム近所に住む職員がおり、地域行事等の情報を得ている。また、小・中学校との交流や、公民館行事への参加などは積極的に行っている。

(別表第1の2)

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

I. 理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

V. サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー
 “愛媛県地域密着型サービス評価”

【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
- 各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに※を付け、適宜その内容を記入すること。

- 「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 有限会社 優寿の里

(ユニット名) 2階

記入者(管理者)

氏名 堀 恵子

評価完了日 平成 20 年 11 月 7 日

(別表第1)

自己評価及び外部評価票

【セル内での改行は「Alt+Enter」です。】

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) 家族や社会から、信頼され、開かれたホームを基本方針とし利用者ひとり一人が、その人らしい生活が続けられるよう努めている。 (外部評価) 職員と利用者が共に泣き笑いしながら生きていくという姿勢が表われた理念となっている。生活の質の向上への努力、共に生きる姿勢、信頼関係の確立を中心に、優しさをもって地域で共に生きていくことを実現するための理念である。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価) 理念を組み入れたケアプランを、スタッフ間で共有し、日々実践に取り組んでいる。 (外部評価) ホーム内の随所に掲示しており、いつでも確認することができるようになってきている。利用者や家族との信頼関係がいちばんの基礎と職員は考えている。		
3		○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にした理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価) 玄関など、目のつく場所に掲示し、取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 散歩に出かけたときに、声を交わしている。		
5	3	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 地域行事の、敬老会、秋祭りのへの参加、ご近所から作物を届けて頂く等、交流がある。 (外部評価) ホームの近所に住む職員がおり、子ども会や運動会などの行事に参加させてもらっている。近所の方が畑を作っており、新鮮な野菜を持ってきてくれることもある。		
6		○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 気軽に相談していただけるよう、地域の方に声を掛けている		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 全職員で自己評価を行い、より良いホームとなるよう、改善に取り組んでいる。 (外部評価) 職員は、評価を日々のケアに追われて気づかないことを気づくことができる振り返りの機会と捉えており、課題としてあげられたことは話し合いながら改善に取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) ホームの状況報告、時々の問題点などを提起し話し合いを行い、サービスの向上に繋げている。う (外部評価) ホームで課題となっていることや気になるテーマがある時は、家族アンケートを取りながら、運営推進会議の議題として取り上げている。当日欠席したメンバーにも必ず会議内容の報告をしている。町内会長、地域包括支援センター、民生委員等が地域行事について情報提供してくれるが、積極的な意見は出ていない。	※	ホームとしては、家族とも意見交換できる時間を増やしたいと考えているため、より参加メンバーからの意見が出やすい会となるよう、持ち方等について工夫することが望まれる。
9	6	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価) 運営推進委員会に参加して頂いたり、地域の連絡会に参加して情報を得ている。 (外部評価) 家族から同意書をいただく場合等に、内容等について相談している。また、ホームとして課題がある場合には相談に乗ってもらうなど、いいキャッチボールができる関係ができています。		
10		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価) 運営推進委員会の議題として掲げ、必要な方には、相談にのっている。		
11		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 職員会、勉強会などで学ぶ機会を持ち、防止に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約時には、重要事項説明書にて十分な説明を行い疑問点があれば説明をし、理解、納得を図っている。		
13		○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 日々より、意見、不満、苦情を気軽に言える雰囲気を作っている。		
14	7	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 月1回は、支払をかねて家族に尋ねてもらい、その時に生活状況、アルバム、金銭収支などを報告している。 (外部評価) 家族になるべくホームを訪問してもらえようというの思いがあり、利用料はホームに支払いに来てもらっている。そのため、月1回は家族の来訪があり、その時には暮らしぶりや健康状態を直接報告している。写真は個人別に作成し、持ち帰ってもらうようにしている。		
15	8	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 意見や希望は、職員間で共有しできるだけ対応できる形で返しており、入り口には意見箱を設置している。 (外部評価) 家族からの意見や苦情はあまりないが、身体状況や体調等については気にかけている家族が多いためいろいろと相談があり、適切に対応して不安をなくすよう努めている。	※	苦情はあまりないようだが、重要事項説明書の中などに公的な相談窓口も明示し、利用者や家族に前もって説明することが望まれる。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 職員から、意見や提案を開ける雰囲気を作れるように、努めている。		
17		○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 状況に変化に対応できるよう、職員間で話しあい勤務調整を行っている。		
18	9	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 職員の移動の影響は、今のところ見られない。 移動のあった職員が、元のユニットのパイプ役となり、よりよい情報交換ができています。 (外部評価) この一年職員の異動はほとんどなく、異動がある場合も他の職員が協力し合ってフォローしており、利用者への影響はほとんど見られない。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 研修などへの参加後、勉強会を開いている。 運営者より研修参加の呼びかけや、日程の提示があり、勤務の調整など配慮している。し (外部評価) 研修案内は全員が確認できるようにしており、経費は運営者負担で出勤扱いで順番に参加している。自身のスキルアップのための資格取得等については休暇を利用しているが、勤務のシフト等には配慮している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価) 支援センター主催の会に参加をしネットワークを広げている。又地域の同業者と交流をおこなっている。 (外部評価) 近隣のグループホーム3か所と、祭りやクリスマス会等の行事で相互に参加し合っている。また、それらホームの近所に行く用事があれば気軽に訪問し合っており、相互のサービスの質の向上に取り組んでいる。		今後も積極的に同業者交流を持ちサービスと質の向上を行いたい。
21		○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価) 日々、職員に声を掛け悩み、相談などの声を聞いている。職員の変化に気づくことから、早めの対応を行うことができている。		
22		○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価) 日々、職員と接し、同じように勤務に入ることから、個々を把握できるように努めている。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 本人に話を伺ったり、家族から提供して頂き求めていることを、受け止めようと努めている。		
24		○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 家族より情報提供して頂いたり、運営者から問いかけを行い受け止める努力をしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
25		○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 介護相談員等と検討した上で、本人に合った支援を行っている。		
26	12	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 入居前の施設訪問で馴染んでもらっている。 (外部評価) 医療機関から、自宅からなど入居時の利用者の状況は様々だが、入院・入所先や自宅などを事前に訪問して利用者や家族に話を聞き、情報を把握するようにしている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 利用者とともに過ごすことを大切に考え、一緒に過ごす時間から人生の先輩として学べることが多い。 (外部評価) 感情が細やかな利用者が多く、気を遣ってくれたり優しく声をかけてもらってうれしいことがあると職員は感じている。人生の先輩として教えてもらうことは多く、支え合う関係を築いている。		
28		○本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 常に利用者の健康状態に応じての対応を行い、家族に状態を伝え、相談を行い、一緒に支えるように行っている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
29		○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 家族に施設の行事に参加して頂き、本人と共に楽しめる時間作りを行っている。 家族に利用者の状態の変化などを連絡したり面会時に話し合うようにしている。		
30		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 知人の面会、電話などで連絡をとっている。又自宅訪問、近所のドライブ、買い物などの外出支援を行っている。		
31		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 利用者同士が、協力しあい、勇気付け合えるように努めている。		
32		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 入院、退所時には、お見舞いに出かけている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
33	14	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 本人の要望に沿えるような、生活の流れを作っている。 (外部評価) 家族に昔のことも含めて情報を聞きながら、利用者の思いや意向の把握に努めている。長年ホームで生活している方についても適宜情報を確認しながら、新たに得られた内容は職員間で共有して活用している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
34		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 何気ない会話の中から情報を得るなどし、職員間で共有し把握している。又、居室には馴染みの装飾品を持ち込まれている。		
35		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価) 日常の生活記録で、現状を把握するよう努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価) ケアプラン作成時に、本人、家族の希望を伺い、職員全員意見交換し、より良いプラン作成に努めている。 (外部評価) 日常的に介護計画について話し合いながら、計画作成担当者が原案を立ててミーティングで検討している。利用者及び家族とも相談し、意見を反映させるように努めている。		
37	16	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価) 1ヶ月毎の評価、3ヶ月に1度のプランの見直しを行う。状態が変われば、その都度現状に応じて計画を作成している。 (外部評価) 利用者の状態に変化が生じた場合は、家族等も交えながらその都度現状に即した介護計画を作成している。月1回の職員会でモニタリングを行い、3か月に1回は定期的に見直している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 個別の記録を記入し、利用者の変化に気づいた介護計画の見直しに役立てている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価) 個々の利用者に合わせた外出支援を行っている。施設内の行事に家族を招待し、共に楽しんで頂いている。 (外部評価) 医療機関の受診を支援しており、今後は訪問看護等の導入も予定している。家族の宿泊に対応する準備はあり、現在までに実際1回の利用があった。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 定期的に運営推進委員会を開催して、地域の方々と協力し合って支援している。		
41		○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 地域の連絡会に参加し、情報を得たり、他のサービス事業の行事などに参加させてもらいながら支援している。		
42		○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 支援センター主催の会に参加をしたり、運営推進委員会に参加して頂き、情報を得ている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	18	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 協力医療機関の北条フェニックスとは、月2回の往診と24時間の対応が可能であり、そこから済生会訪問介護ステーションの連携もとれている。 (外部評価) 2週間に1回、協力医療機関から往診に来てもらっている。通院支援の予定がある日は日中の勤務を増員し、利用者に負担がないよう配慮している。		
44		○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 主治医と相談、又堀江病院へ受診、診断や治療を受けられるよう支援している。		
45		○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) かかりつけ医の看護師へ疑問点などを相談、又変化時には電話で連絡をとっている。		
46		○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 医療機関と連携を取り、病状の確認をしながら早期退院に向け、支援している。		
47	19	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 家族、主治医等と話し合いを持ち、終末期に向け全員で方針を共有している。 (外部評価) 医師を交えて家族等と話し合い、医療的な支援が必要な場合は病院に行くという方針を決めている。訪問看護を利用して対応が可能なところまではホームで過ごしてもらうことにしている。死に向き合う不安が職員にはあるが、緊急時の対応マニュアル等を活用しながら学習を続けている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
48		○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 事業所の可能な状態に合わせて、職員、家族と話しあいを持ち、主治医と共に、支援に取り組んでいる。又、重度化にあわせた福祉用具の導入。		
49		○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 利用者の住み替え先に、馴染みの物を持参する。生活パターンなど情報交換を行う。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
50	20	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価) 各利用者の生活歴や環境を考慮した上での言葉掛け、対応を行っている。 (外部評価) 居室への入室の際には声をかけてノックをする、排泄介助はさりげなく羞恥心を感じないように対応するなど、プライバシーには十分配慮している。写真等の取り扱いは事前に家族の了解を得ている。名前が外部に出るときは、イニシャルを使用している。		
51		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価) 日常的に寄り添う時間を設け、利用者の思いや希望を表現できるように対応している。本人の意思決定を尊重している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
52	21	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 一人ひとりの要望に沿えるよう、業務優先にならないように努めている。 (外部評価) 健康的な生活の維持のため、ある程度の生活のリズムは守りながらも、利用者のその日の希望やペースにそうよう柔軟に支援している。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 利用者と一緒に洋服を選んだり、購入する事もある。外出時や行事の時には、化粧をしたり、おしゃれに気を配っている。		
54	22	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 月に1度献立会を開き、食べたいもの、希望のメニューを取り入れている。季節に旬の食材を取り入れ、食事作りや配膳、皿洗いまで利用者と一緒に取り組んでいる。 (外部評価) 1か月に1回献立会を開催し、利用者が食べたい物を聞いて、希望にそったメニューを立てている。スーパーのチラシなどを一緒に見ながら季節を感じながらメニューを考えてもらっている。コロッケ・お好み焼き・おはぎなどを利用者と一緒につくっている。		
55		○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 個々の病状にあわせて、好みの物を献立に組み入れたり、一緒に買い物にでかける。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
56		○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 排泄にリズムをつかみ、オムツやパット使用でも、トイレ誘導を行い、排泄の支援をしている。		
57	23	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価) その日の体調に合わせて、希望を聞きながら行っている。 (外部評価) 午前中に毎日入浴できるが、3日に1回入る人が多い。利用者同士が誘い合って入浴を楽しんでいる。はじめは入浴を嫌がる方もいるが、職員の声かけの工夫等により最低でも週2回は入ってもらっている。		
58		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価) 日中、適度の運動、レクリエーションなどに参加して頂いている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価) 一人ひとりに合わせて役割の分担をしている。他者との関わり、外出や買い物などで気晴らしの支援をしている。 (外部評価) 絵手紙・塗り絵・歌・カラオケなど、それぞれに合った楽しみごとや気晴らしを自由に楽しんでいる。ホームには畑もあり、園芸や野菜づくりもしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 一人ひとりの理解できる状態に応じて所持したり使えるようにしている。個々の出納帳にて管理できている。		
61	25	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価) 個々の体調や状態に応じて、外出、散歩、ドライブなど希望に沿って行っている。 (外部評価) 以前は外出機会が多かったが、保険やリスク等の課題があり、今後の方向性については現在家族と検討を続けている。		
62		○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価) 本人の 要望を聞いた上で、家族と相談し、家族の協力を得たりして出かけている。		
63		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 本人の希望時には、手紙、電話で連絡がとれるように支援している。		
64		○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価) 気軽に訪問できており、リビング、居室にて会話を楽しまれている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 身体拘束については、原則としてはおこなっていない。転倒防止のベッドサイドレールは、スタッフ間で話し合いを持ち取り付けの際には、ご家族に同意書をいただいている。		
66	26	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 自由に入出りできるよう鍵はかけていない。出かける様子のある方には、一緒に出かけている。 (外部評価) 2階ユニットにはかけていない。1階ユニットも基本的にはかけていないが、ホーム前に川があるため、職員が忙しい時等には利用者の安全を確保するためにやむなくかける時がある。		
67		○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 個々の様子を常に把握し、安全に配慮している。居室の入室の際には、必ずノックをしている。		
68		○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 一人ひとりに合った保管方法をとっている。必要時は、見守りを行っている。		
69		○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 危険を感じた場合は、ヒアリハット報告に記入し、情報の共有を行い、事故防止に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 勉強会で、学ぶ機会を持ち、防止に努めている。		
71	27	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 年2回地域の防災士を中心に訓練を行っている。地域の方との交流を深め、協力を得られるよう働きかけている。備蓄品も備えている。 (外部評価) 年2回実施しており、うち1回は消防署から指導を受けて行っている。もう1回は防災士の資格を持つ職員を中心に、独自で実施している。訓練を行うことでパニックを起こすため平穏な状態に戻るのが大変な利用者はいるが、訓練の重要性を意識しているため、職員がフォローしながら実施している。		
72		○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価) 一人ひとりに起こりえるリスクを考えて、利用者と家族と共に話し合っている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 留意点を記録伝達し、変化や異変には、速やか情報を、共有し対応している。		
74		○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 薬剤師より薬の説明を受けており、症状の変化がみられるときには、速やかに主治医に相談を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
75		○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) なるべく薬に頼らず、食物繊維の多い食品の摂取を心がけている。又適度の運動、腹部マッサージなども行っている。		
76		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 毎食後、職員の声かけにて、一人ひとりに応じた支援を行っている。		
77	28	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 栄養のバランスを考慮したメニューを考えている。又一人ひとりの摂取状態によって支援している。 (外部評価) 多種類の食材を使い、繊維質なども採り入れてバランスの良い食事を心がけている。水分確保にも気を配り、適切な量を確保できるようにしている。定期的な体重測定や採血等により栄養摂取状態を確認しており、体重が増えた時は野菜を多めにするなど調整している。		
78		○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	(自己評価) マニュアルにそって実施している。感染予防のため、入り口には、消毒液を備えている。		
79		○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) 台所、調理器具の衛生に努め、消毒、殺菌を行っている。食材は、原則として国産を使用し、新鮮な物を選び使用している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
80		○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 建物前面が、オープンスペースになっており、庭には、ベンチを置き、花を眺めたり、野菜を収穫したりして家庭的な雰囲気になっている。		
81	29	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 浴室やトイレには、いすや手すりを用意している。リビングには、季節感を感じさせる飾りや花を置いている。 (外部評価) 室内で過ごすことが多いので、季節を感じてもらうことを重視している。季節ごとに塗り絵や折り紙など自分で作った作品を飾っている。車いすでも使いやすいようトイレを改造するなど、利用者の安全のために常に配慮している。		
82		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) リビングには、ソファを置きテレビを観たり新聞を読んだりテーブルを囲んで会話を楽しんでいる。		
83	30	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 居室には、使い慣れた物を持ち込まれており、過ごしやすい空間となっている。整理の難しい方は、職員が手伝っている。 (外部評価) なるべく自宅から使い慣れたものを持ってきてもらい、自分らしく落ちつける部屋になるよう工夫している。居室の入り口には各自異なる暖簾を掛けており、部屋の目印としても活用されている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
84		○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価) 温度計、湿度計の設置し、温度調節を行い適度な換気を行っている。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 要所への手すりの設置、歩行時に危険となりえる物の排除をしている。		
86		○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価) 一人ひとりの性格、体調に配慮し、混乱を未然に防ぐようにしている。		
87		○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価) 花や野菜を共に育て、野菜の収穫を楽しんだり、庭で外気浴を行っている。		

(注)

- 1  部分は自己評価と外部評価の共通評価項目。
- 2 全ての自己評価又は外部評価の項目に関し、具体的に記入すること。

V. サービスの成果に関する項目			
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	① ほぼ全ての利用者の (自己 2 利用者の2/3くらい 評価) 3 利用者の1/3くらい 4 ほとんど掴んでいない	利用者の日常の会話から、思いや願いを読み取り、暮らし方の意向を掴んで職員間で共有している。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	① 毎日ある (自己 2 数日に1回程度ある 評価) 3 たまにある 4 ほとんどない	午後のゆったりとした時間には、一緒にお茶を飲みながら、会話を楽しんでいる。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	① ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	職員の都合にならず、一人ひとりのペースに合わせて暮らせている。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	1 ほぼ全ての利用者が (自己 ② 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者に役割を持って頂く事により、生き生きとした表情が見られている。
92	利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている	1 ほぼ全ての利用者が (自己 ② 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者の要望を聞き、出かけている。体調により、外出が難しいかたもいらっしゃる。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	① ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	食事摂取量、衣類、寝具、室内調節に配慮している。 主治医とは、連携がとれており、安心して生活が送れるよう支援している。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	① ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	不安時には、家族と連絡をとったり、じっくりと話を聞くことにより、落ち着いていただいている。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができていく	① ほぼ全ての家族と (自己 2 家族の2/3くらいと 評価) 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	面会時、又家族と連絡をとり、家族の要望を聞いている。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	1 ほぼ毎日のように (自己 2 数日に1回程度 評価) ③ たまに 4 ほとんどない	利用者の友人、牧師の方の来所がある。近所の方の野菜の差し入れがある。

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	1 大いに増えている (自己 ② 少しずつ増えている 評価) 3 あまり増えていない 4 全くいない	地域の行事への参加、運営推進委員会による町内会、民生委員の方などとのつながりが深まりつつある。
98	職員は、生き生きと働いている	(自己 ① ほぼ全ての職員が 評価) 2 職員の2/3くらいが 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	常に職員間で話し合う時間を持ち、それぞれが得意分野の分担により、生き生きと働いている。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	(自己 ① ほぼ全ての利用者が 評価) 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者の笑顔や会話の中で、感じられる。常に要望を聞き出来る限り要望に答えている。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	(自己 ① ほぼ全ての家族等が 評価) 2 家族等の2/3くらいが 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	面会、施設行事への参加が多くあり、相談、協力を行いながら、支援できていると思われる。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

病院との連携により、定期的な往診で健康管理が出来、安心した生活が送られている。楽しみの一つでもある食事についても、安心できる食材を利用し、美味しく、楽しい時間となっている。利用者一人ひとりの思いを大切に、楽しく、穏やかな日々が送れるように、努めている。

(別表第1の2)

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

I. 理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

V. サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー
 “愛媛県地域密着型サービス評価”

【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
 - 各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに※を付け、適宜その内容を記入すること。
 - 「取組みの事実」は必ず記入すること。
- (注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 グループホーム 優寿の里

(ユニット名) 1F

記入者(管理者)
氏名 藤本 崇

評価完了日 平成 20 年 11 月 8 日

(別表第1)

自己評価及び外部評価票

【セル内での改行は「Alt+Enter」です。】

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) 理念をつくり、地域の中でその人らしく暮らし続けることを実践するよう努めています。 また、基本方針にも、家族や社会から信頼される開かれたホームを目指しています。 (外部評価) 職員と利用者が共に泣き笑いしながら生きていくという姿勢が表われた理念となっている。生活の質の向上への努力、共に生きる姿勢、信頼関係の確立を中心に、優しさをもって地域で共に生きていくことを実現するための理念である。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価) 理念や基本方針を各所に掲示し、日々取り組んでいます。 (外部評価) ホーム内の随所に掲示しており、いつでも確認することができるようになっている。利用者や家族との信頼関係がいちばんの基礎と職員は考えている。		
3		○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価) 玄関や居間など来訪者の目につく所に掲示し、取り組んでいます。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 休憩時間にはホームのベンチで休んで頂いたり、気軽に声をかけさせて頂いています。		
5	3	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 利用者の体調等を考慮しながら、地域の行事に積極的に参加させて頂いています。(敬老会・バザー・夏祭り・運動会他) (外部評価) ホームの近所に住む職員がおり、子ども会や運動会などの行事に参加させて頂いている。近所の方が畑を作っており、新鮮な野菜を持ってきてくれることもある。		
6		○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 気軽に立ち寄り相談して頂けるよう、民生委員さんやご近所の方に声をかけています。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 評価の意義を理解し、活かし改善していけるよう具体的に取り組んでいます。 (外部評価) 職員は、評価を日々のケアに追われて気づかないことを気づくことができる振り返りの機会と捉えており、課題としてあげられたことは話し合いながら改善に取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	<p>○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>(自己評価) 活動内容の報告も重要ですが、意見の交換に重きを置き、活発な意見のやり取りをし、今後の質の向上に努めています。</p> <p>(外部評価) ホームで課題となっていることや気になるテーマがある時は、家族アンケートを取りながら、運営推進会議の議題として取り上げている。当日欠席したメンバーにも必ず会議内容の報告をしている。町内会長、地域包括支援センター、民生委員等が地域行事について情報提供してくれるが、積極的な意見は出ていない。</p>	※	ホームとしては、家族とも意見交換できる時間を増やしたいと考えているため、より参加メンバーからの意見が出やすい会となるよう、持ち方等について工夫することが望まれる。
9	6	<p>○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 地域の交流会を通じて、市町村担当者との交流をはかり、サービスの質の向上に努めています。</p> <p>(外部評価) 家族から同意書をいただく場合等に、内容等について相談している。また、ホームとして課題がある場合には相談に乗ってもらうなど、いいキャッチボールができる関係ができています。</p>		
10		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>(自己評価) 研修会に参加したり、パンフレットを入りに置き、必要に応じて活用できるよう支援しています。</p>		
11		<p>○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>(自己評価) 職員会や勉強会で話し合い、防止に努めています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 十分な説明を行い理解、納得を図り、同意の署名捺印を頂いています。		
13		○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 気軽に意見、不満、苦情を言える関係づくりを心がけ反映させています。また、意見、不満、苦情の中から改善点を利用者を含め職員間で話し合っています。		
14	7	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 面会時や連絡時等、必要に応じて報告をしています。 (外部評価) 家族になるべくホームを訪問してもらえようとの思いがあり、利用料はホームに支払いに来てもらっている。そのため、月1回は家族の来訪があり、その時には暮らしぶりや健康状態を直接報告している。写真は個人別に作成し、持ち帰ってもらうようにしている。		
15	8	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 玄関に相談箱を設置し、苦情を気軽に相談いただけるよう来訪時などの機会に度々声かけをしています。 (外部評価) 家族からの意見や苦情はあまりないが、身体状況や体調等については気にかけている家族が多いためいろいろと相談があり、適切に対応して不安をなくすよう努めている。	※	苦情はあまりないようだが、重要事項説明書の中などに公的な相談窓口も明示し、利用者や家族に前もって説明することが望まれる。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 職員会議、ケース会議、相談ノートなどで意見を聞き反映させています。また、その都度話し合い意見を聞けるよう、開かれた状態になっています。		
17		○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 行事予定のある時には出勤者を増やすなど、その時々に応じた対応が出来るよう、出勤人数の調整を行っています。		
18	9	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 異動や離職は抑える努力をし、代わる場合はダメージを防ぐ配慮をしています。 (外部評価) この一年職員の異動はほとんどなく、異動がある場合も他の職員が協力し合ってフォローしており、利用者への影響はほとんど見られない。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 研修会、勉強会、定期購読の雑誌（おはよう21）などで勉強しています。また、日々のケアを職員間で密に話し合うことにより質の向上を目指しています。 (外部評価) 研修案内は全員が確認できるようにしており、経費は運営者負担で出勤扱いで順番に参加している。自身のスキルアップのための資格取得等については休暇を利用しているが、勤務のシフト等には配慮している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価) 夏祭りなどの行事への参加や意見交換会への参加を通してネットワークを構築しています。 (外部評価) 近隣のグループホーム3か所と、祭りやクリスマス会等の行事で相互に参加し合っている。また、それらホームの近所に行く用事があれば気軽に訪問し合っており、相互のサービスの質の向上に取り組んでいる。		
21		○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価) 1ヶ月単位で休みの希望をとり、無理の無いローテーションを組んでいます。 常時、相談に応じられる環境を整えています。		
22		○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価) 個々の状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めています。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 利用者やご家族からよくお話を伺い、現状とこれからの求めに沿っていけるよう努めています。		
24		○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) ケアマネジャーと共にご家族への聞き取りを行い、ご家族の求めていることを受け止めるよう努めています。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
25		○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 相談内容により、必要とした支援を検討しています。		
26	12	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 相談時や見学時によくご説明をし、希望者には、サービス利用前に体験入居などを通して、徐々に馴染める環境を作っています。 (外部評価) 医療機関から、自宅からなど入居時の利用者の状況は様々だが、入院・入所先や自宅などを事前に訪問して利用者や家族に話を聞き、情報を把握するようにしている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 利用者一人ひとりの人格を尊重し、理念にもある共に生きる姿勢を大事にしています。 ゆったりとした時間の中で、家事や歌、昔の話を通し、本人の経験を学ぶ場を作っています。 (外部評価) 感情が細やかな利用者が多く、気を遣ってくれたり優しく声をかけてもらってうれしいことがあると職員は感じている。人生の先輩として教えてもらうことは多く、支え合う関係を築いている。		
28		○本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 気軽に訪問できる場を作り、ご家族と共に本人を支えています。 行事への参加を呼びかけ、共に楽しめる環境を提供しています。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
29		○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 利用者ご家族との関係を、利用者やご家族の情報をもとに理解した上で、より良い関係が築けるように努めています。		
30		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 利用者の記憶の中にある場所への外出支援を行っています。 ご親戚や知人などの訪問も多くあり、電話や手紙等でのやりとりもあります。		
31		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 一人ひとりの時間を大切にしながら、レクリエーションや行事等を通じて利用者同士の関わり合いを支援しています。そこから、利用者一人ひとりの気持ちを把握し、共に喜怒哀楽を感じられる場面を作っています。		
32		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) サービス利用が終了しても、継続的に電話や訪問等により、関係を断ち切らないように努めています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
33	14	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 日常の会話の中や、ちょっとした訴えの中から利用者の要望を捉え、利用者本位のケアに努めています。 (外部評価) 家族に昔のことも含めて情報を聞きながら、利用者の思いや意向の把握に努めている。長年ホームで生活している方についても適宜情報を確認しながら、新たに得られた内容は職員間で共有して活用している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
34		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 本人からの聞き取りやご家族からの情報提供により、今までの暮らしを把握することに努めています。		
35		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価) 日々のミーティングや職員会、日常の記録等により、利用者一人ひとりの現状を職員全員が把握しています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価) ケアマネージャーを中心とし、本人・ご家族の意見を取り入れた介護計画を作成しようと努めています。また、毎月のケアプラン評価やモニタリングにより、意見やアイデアを取り入れています。 (外部評価) 日常的に介護計画について話し合いながら、計画作成担当者が原案を立ててミーティングで検討している。利用者及び家族とも相談し、意見を反映させるように努めている。		
37	16	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価) 三ヶ月ごとに介護計画を見直し、急激な変化が見られる場合には、その都度新たな介護計画を作成しています。 (外部評価) 利用者の状態に変化が生じた場合は、家族等も交えながらその都度現状に即した介護計画を作成している。月1回の職員会でモニタリングを行い、3か月に1回は定期的に見直している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 気づきや工夫の情報をミーティングや評価、職員会議等を通じて共有することにより、その時に合った介護計画を立てられるようにしています。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価) 利用者やご家族の話をよく聞き、その時々に応じた柔軟な対応に努めています。 (外部評価) 医療機関の受診を支援しており、今後は訪問看護等の導入も予定している。家族の宿泊に対応する準備はあり、現在までに実際1回の利用があった。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) ボランティアの協力を得て、語り部さんのお話会、日舞、芋ほりなどの支援を行っています。		
41		○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 利用者本人の現状を踏まえ、ご家族と共に他のサービス活用を検討させて頂いています。		
42		○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 運営推進会議に参加していただき、情報を得ています。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	18	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 医療機関、訪問歯科医院等と連携をとっています。24時間体制で緊急時には指示を仰ぎ、適切に対応してもらえる体制を構築しています。 (外部評価) 2週間に1回、協力医療機関から往診に来てもらっている。通院支援の予定がある日は日中の勤務を増員し、利用者に負担がないよう配慮している。		
44		○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 専門医等又詳しい医師に診察相談をし、利用者の診断治療を受けられるよう支援しています。		
45		○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 連携を持っている医療機関の看護職の方に、日常の健康管理医療活用の支援をして頂いています。		
46		○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 医療機関と連携をとり、病状の確認をしながら早期退院に向け支援しています。		
47	19	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) ご家族、かかりつけ医、ケアマネージャー等と常に話し合いを持ち重度化、終末期に向け全員で方針を共有しています。 (外部評価) 医師を交えて家族等と話し合い、医療的な支援が必要な場合は病院に行くという方針を決めている。訪問看護を利用して対応が可能なところまではホームで過ごしてもらうことにしている。死に向き合う不安が職員にはあるが、緊急時の対応マニュアル等を活用しながら学習を続けている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
48		○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 重度化、終末期に向けたチーム支援は、利用者がより良く暮らせる為にかかりつけ医等と共に支援内容を見極め、関係者全員を一つのチームとして支援に取り組んでいます。また、そう取り組めるよう、かかりつけ医や職員間で検討や準備を行っています。		
49		○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) ご家族や本人との十分な話し合いを行い、前担当者からの情報を職員間で共有することにより、ダメージを防ぐよう努めています。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
50	20	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価) 個人のプライバシーには十分に注意し、言葉かけや対応記録の取り扱いに十分な配慮を行っています。また、個人情報に関しても、使用する場合には同意書と共に個人と特定できないようにしています。 (外部評価) 居室への入室の際には声をかけてノックをする、排泄介助はさりげなく羞恥心を感じないように対応するなど、プライバシーには十分配慮している。写真等の取り扱いは事前に家族の了解を得ている。名前が外部に出るときは、イニシャルを使用している。		
51		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価) 日々の生活の中から本人の要望、希望を見つけ出し、出来ないことをあきらめえるのではなく、支援により出来ることへの発見に重きを置いています。本人の意思の尊重、希望に沿うような働きかけ、力に合った説明を支援しています。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
52	21	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) その人らしい生活を送れるよう、職員の都合を優先しないよう努めています。 一人ひとりのペースに合わせ、ゆっくりと柔軟な対応が取れるよう支援しています。 (外部評価) 健康的な生活の維持のため、ある程度の生活のリズムは守りながらも、利用者のその日の希望やペースにそうよう柔軟に支援している。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 整容に関するチェックリストを使用し、身だしなみには十分に配慮しています。 理容、美容も本人の望む時期、場所等についても支援しています。		
54	22	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 利用者個人個人の好き嫌いを把握し、普段のメニューの中にも取り入れています。また、食事は個々に合わせた支援を心がけて、準備、片付けなど出来る範囲で共用しています。ホットプレートを使った料理等をし、一緒に楽しめる場を作っています。 (外部評価) 1か月に1回献立会を開催し、利用者が食べたい物を聞いて、希望にそったメニューを立てている。スーパーのチラシなどを一緒に見ながら季節を感じながらメニューを考えてもらっている。コロッケ・お好み焼き・おはぎなどを利用者と一緒につくっている。		
55		○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 嗜好の支援は状況に合わせ、日常的に楽しめるよう支援しています。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
56		○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 排泄の間隔を把握して、すみやかにトイレ誘導をする事により、オムツの使用を減らし、又本人の排泄の感覚を取り戻せるよう支援しています。		
57	23	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価) 身体状態により入浴が十分に出来ない利用者もいらっしゃいますが、いつでも入浴できるように支援しています。 毎日、お風呂を沸かし、希望があれば毎日でも入浴できるようになっています。 (外部評価) 午前中に毎日入浴できるが、3日に1回入る人が多い。利用者同士が誘い合って入浴を楽しんでいる。はじめは入浴を嫌がる方もいるが、職員の声かけの工夫等により最低でも週2回は入ってもらっている。		
58		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価) 利用者は殆ど安眠しています。 困難な利用者には、日中に適度な運動をしてもらったり個々に合った対応をしたりして、安眠につなげています。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価) 洗濯干し、食前食後の手伝い、掃除、花瓶の水替え等役割分担し、喜んでいろいろな場面に参加できるよう努めています。 職歴や得意なことを把握し、その人に合った支援を行っています。 (外部評価) 絵手紙・塗り絵・歌・カラオケなど、それぞれに合った楽しみごとや気晴らしを自由に楽しんでいる。ホームには畑もあり、園芸や野菜づくりもしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 金銭を管理できる方は、小額ずつ所持して頂いています。 難しい方については、おこづかいを預かり、スーパーなどに出掛けた際など必要な時にお渡しするようにしています。		
61	25	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価) 本人の体調や気分、その日の気候などを考慮して、出来るかぎり外気浴や散歩、ドライブ等に出掛けるようにしています。 (外部評価) 以前は外出機会が多かったが、保険やリスク等の課題があり、今後の方向性については現在家族と検討を続けている。		
62		○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価) 地域の行事への参加や、住み慣れた場所への外出など、本人の希望に沿った場所への外出の支援を行っています。 お花見や遠足等の行事を通じて、他の利用者と共に出かけられる機会を作っています。		
63		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 利用者本人が家族などに電話をしたり、手紙を書いたり出来るよう支援しています。		
64		○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価) いつでも気軽に訪問でき、リビングや利用者の自室でお話いただけるようにしています。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 原則として、身体拘束は行っていません。 転落防止の為に、ベッドのサイドレールを取り付けていただいている方については、ご家族の同意を頂いています。		
66	26	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 日中は鍵をかけない努力を行っています。 夜間は防犯の為に施錠しています。 (外部評価) 2階ユニットにはかけていない。1階ユニットも基本的にはかけていないが、ホーム前に川があるため、職員が忙しい時等には利用者の安全を確保するためにやむなくかける時がある。		
67		○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 利用者の過ごしたい場所で過ごしてもらえよう支援し、安全に配慮して見守りを十分に行っています。ただし、施設外の場合には、必ず付き添いをさせてもらっています。		
68		○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 危険な薬品や、洗剤、刃物などは安全な場所へ保管しています。 必要な場合には、職員と共に使用して頂く様にしています。		
69		○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 危険を感じた場合には、ヒヤリハット報告をし、情報の共有を行い、事故防止に努めています。また、職員は向上心を持って仕事に臨むことを心がけ、日々のケアの中から入居者の方々に役立つ内容を調べ、勉強会の資料とし、ケアの質の向上に努めています。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 応急手当や初期対応についての勉強会を行っています。救急時の対応を電話近くに掲示し、準備物をリストアップしています。		
71	27	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 年二回の避難訓練を行っています。防災士の職員の指導により防災訓練を行いました。職員全員で避難場所を確認し、懐中電灯や非常水等の備蓄品の準備を行っています。また、日頃から近隣との関係を密に取り、非常時には協力し合えるよう交流を図っています。 (外部評価) 年2回実施しており、うち1回は消防署から指導を受けて行っている。もう1回は防災士の資格を持つ職員を中心に、独自で実施している。訓練を行うことでパニックを起こすため平穏な状態に戻るのが大変な利用者はいるが、訓練の重要性を意識しているため、職員がフォローしながら実施している。		
72		○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	(自己評価) 一人ひとりに起こりうるリスクを考えて、利用者ご家族と共によく話し合っています。必要な場合には同意書を頂いています。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 日常とは異なる状態の変化があったときには、バイタルチェックを行い、特に重点的に様子の観察が出来るよう情報の共有と引継ぎを行っています。		
74		○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 薬の内容を理解し、間違いの無い薬の服用を支援しています。また、症状の変化が見られるときには、医師への相談がすみやかに行えるように連携をとっています。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
75		○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 食物繊維などを多く含む食品や、乳製品や果物等を摂取できるよう心がけています。 日常動作の中やリハビリ体操などの適度な運動を行っています。		
76		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 起床時や毎食後に歯磨き、口腔ケアを行えるよう支援しています。		
77	28	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 野菜を中心とする食事を提供し、多くの種類を使用したメニューと栄養のバランスを考えた食事内容になるよう努めています。 (外部評価) 多種類の食材を使い、繊維質なども採り入れてバランスの良い食事を心がけている。水分確保にも気を配り、適切な量を確保できるようにしている。定期的な体重測定や採血等により栄養摂取状態を確認しており、体重が増えた時は野菜を多めにするなど調整している。		
78		○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	(自己評価) 感染予防マニュアルを作成し、職員全員が目を通し、理解しています。勉強会でも話し合っています。 手洗い、うがいをこまめに実施し、玄関には消毒液を備えています。		
79		○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) 調理用具は、特に清潔の保持に努めています。熱湯消毒やハイター消毒、アルコール消毒を行っています。 食材は国内産を原則とし、賞味期限内の新鮮なものを使用しています。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
80		○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 塀が無く前面にオープンスペースがあり、周りに花や季節の野菜を植え、その花や野菜を収穫している様子を笑顔で見守ってくださっている。		
81	29	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 日中、大半を過ごすリビングには、特に季節感に配慮し、観葉植物や生け花、四季を表現した貼り絵を作成、展示して楽しんでいます。 (外部評価) 室内で過ごすことが多いので、季節を感じてもらうことを重視している。季節ごとに塗り絵や折り紙など自分で作った作品を飾っている。車いすでも使いやすいようトイレを改造するなど、利用者の安全のために常に配慮している。		
82		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) いくつかのリビングソファとテーブルがあるので、一人で新聞を読んだり、陽の当たる日中うとうとされたり、ふと思い出した話を利用者同士で話したりと思いに過ごせるように工夫しています。		
83	30	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 居室には、出来る限り使い慣れた家具や持ち物、懐かしい写真などを置き、居心地の良い空間を作るよう努めています。 (外部評価) なるべく自宅から使い慣れたものを持ってきてもらい、自分らしく落ちつける部屋になるよう工夫している。居室の入り口には各自異なる暖簾を掛けており、部屋の目印としても活用されている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
84		○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価) リビングで過ごされている時には、自室の窓を開けて空気の入れ替えに配慮しています。また、居室にはエアコンや換気扇が備わっています。 冬場は加湿器など利用しています。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 歩行時に危険となりえるものは排除し、自由に行き来の出来る環境を整えています。		
86		○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価) 一人ひとりの性格、体質体調に配慮し、遠くから見守ったり、言葉をかけたりしています。 また、出来ることはお手伝いして頂く様にしています。		
87		○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価) 庭にあるベンチで外気浴したり、他の入居者の方とのコミュニケーションを楽しんでいます。 庭の野菜を収穫し調理する支援も行っています。		

(注)

- 1  部分は自己評価と外部評価の共通評価項目。
- 2 全ての自己評価又は外部評価の項目に関し、具体的に記入すること。

V. サービスの成果に関する項目			
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	① ほぼ全ての利用者の (自己 2 利用者の2/3くらい 評価) 3 利用者の1/3くらい 4 ほとんど掴んでいない	入居前の情報の中からグループホームでの暮らし方の意向を掴んでいます。また、利用者の日常の会話の中から利用者の訴えを読み取り、何をしたいのか理解できています。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	① 毎日ある (自己 2 数日に1回程度ある 評価) 3 たまにある 4 ほとんどない	共に生きる姿勢を大切にし、共に喜怒哀楽を感じられるゆったりとした時間を過ごされています。おやつ時や午後のゆったりした時間には、歌を歌ったり、昔話を一緒に過ごしています。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	① ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	職員の都合に合わせず、常に利用者本位とし、自由に自室に戻ったり、リビングでテレビをみたり、うとうととお昼寝をしたりと一人一人のペースで毎日を過ごさせています。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	① ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	少しでも出来ることを支援し、残存機能の維持向上及び生きがいのある生活を支援しています。一人ひとりへの声かけ、身の回りのケアに笑顔でかえして下さっています。
92	利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている	① ほぼ全ての利用者が (自己 ② 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	天候や、体調を考慮してショッピング、散歩、ドライブなどにいつでも出掛けられるように支援しています。また、日常の会話の中から行ってみたい所を探り、外出支援に生かしています。体調により外出が難しい方もいらっしゃいます。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている	① ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	かかりつけ医の往診、又は受診があり健康面でも安心して暮らせるように支援しています。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	① ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	日常と違った少しの変化や、利用者との会話の中から、その時その時期に利用者が何をしたいかを捉え、柔軟な対応を取っています。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	① ほぼ全ての家族と (自己 2 家族の2/3くらいと 評価) 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	面会時や直接の電話にて、コミュニケーションを図り、ご家族の要望や考えていることを把握しています。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	① ほぼ毎日のように (自己 ② 数日に1回程度 評価) 3 たまに 4 ほとんどない	ご近所の農家の方から、その時期旬の野菜を差し入れてもらっています。

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	1 大いに増えている (自己 ② 少しずつ増えている 評価) 3 あまり増えていない 4 全くいない	運営推進会議を通して、市の職員の方や、民生委員の方などつながりや関係が深まりつつあります。
98	職員は、生き活きと働いている	① ほぼ全ての職員が (自己 2 職員の2/3くらいが 評価) 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	職員同士でよく話し合い、日々活き活きと働いています。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	① ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	日常生活のなかで、たびたび感謝の言葉をかけて頂けています。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	① ほぼ全ての家族等が (自己 2 家族等の2/3くらいが 評価) 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	面会時や、手紙等で感謝の言葉を頂けています。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

利用者のみならず、ご家族を含めた家庭的で楽しく穏やかに日々を過ごしていけるよう努めています。

利用者と共に喜びや悲しみを分かち合い、共に生きている姿勢を大事にしています。

一人ひとり、その時々に合わせて対応を職員同士で共有し、日々の安定した生活につなげています。